

平成 25 年度 生駒市行政改革推進委員会
第 8 回 会 議 録

開催日時 平成 25 年 11 月 25 日（月） 午前 9 時～午前 11 月 30 分
開催場所 生駒市役所 4 階 401・402 会議室

出席者

- （委 員） 森委員長、松山副委員長、藤堂委員、幸元委員、岡本委員、奥田委員、楠委員、松本委員
（事務局） 今井企画財政部長、西川企画政策課長、岡田企画政策課課長補佐、石村企画政策課係員
（傍聴者） なし

議事内容

1 開会

2 案件

(1)前期行動計画の取組状況について

【資料 1 前期行動計画の取組状況（平成 25 年 9 月末時点）の説明】

- （森 委 員 長） 上半期の取組状況が A 評価と B 評価のものを中心に説明いただいた。質問や意見等はあるか。
- （松山副委員長） 今年の 9 月末時点ということは、1 年半経過しているということか。
- （事 務 局） 25 年度の 1 年間の目標として掲げているので、半年である。
- （松山副委員長） 前期行動計画は 24 年度から 2 年間の目標であるから、1 年半ではないか。
- （事 務 局） 数値目標は、今年度の目標として掲げているものもあるので、一概に 1 年半とは言えない。
- （松山副委員長） 前期行動計画の計画期間である 24 年度～25 年度の 2 年間のうち 1 年半経過して、どれだけ達成したかというものではないのか。
- （事 務 局） そのように捉えることができるものもあるし、単年度の目標を掲げているものもある。
- （松山副委員長） なぜこれほど C 評価が多いのか。
- （事 務 局） 今年度中の達成時期という欄が平成 26 年 3 月となっているものについては、1 年間を通じてこれだけのことをするという目標であるため、どうしても上半期の達成状況は C 評価となってしまう。25 年 9 月までを達成時期としているものであれば、A 評価や B 評価となる。

- (松山副委員長) 説明を聞けば理解は出来るが、分かりにくい。
- (事務局) 担当課には、上半期での評価をしてもらうことで、現状を再認識してもらっている。内容を見ていただいて、評価が甘いのではないか、もっと積極的に取り組むべきではないか等の意見があれば言ってほしい。
- (松山副委員長) 1 ページの「情報公開制度の適正な運用と満足度の向上」が C 評価となっているが、生駒市の情報公開制度について、特段問題があるようには思えない。それでも C 評価となるのか。
- (事務局) 26 年 3 月末まで問題なく運用できれば、B 評価となる。下半期において、目標水準に記載している内容が達成できない状況になる可能性がないとは言えないため C 評価としている。例えば、情報公開の条例を策定するといった目標であれば、いつまでに策定するという時期がはっきりするため、上半期の評価が A 評価や B 評価となる可能性があるが、1 年かけて業務を遂行するという目標であれば、どうしても C 評価となってしまう。
- (森委員長) 他に意見はあるか。
- (藤堂委員) 事務局の説明は理解できたが、松山副委員長の疑問も分かる。行動計画の中には、何らかの取組を実施しており、それが完成しなければ評価できないものと、継続して一定水準の仕事を維持する必要があるものがあり、取組内容の質にばらつきがある。それを同等に評価して良いものなのか。
- (森委員長) 全てを一緒に並べて評価するのはどうかということだと思う。
- (事務局) 指摘されていることは分かる。最終的には1年間の取組状況としてまとめる予定であるが、中間時点では、報告書を作成することは考えていない。今の段階で指摘いただいたことを踏まえて、1年間の取組状況の報告書をまとめる際に記載する。
- (松山副委員長) 今後は、性質の違うものを分けて記載するべきではないか。
- (藤堂委員) C 評価が並んでいると区分が分かりにくい。
- (松山副委員長) 例えば、1 ページの「映像による市政情報の発信」について、今の時点では大きな問題もなく、きちんと取り組んでいるのではないか。そうであるなら、B 評価で良いのではないか。
- (松本委員) 1 ページの「シティプロモーションの推進」は、年間 300 回の目標に対して 200 回達成で A 評価なのに、「ツイッターの管理運営」は年間 2,500 件の目標に対して 2,266 件達成で C 評価となっている。何を根拠に評価しているのかが分からない。
- (事務局) 評価する者によっても変わってくる。取組状況については、各部長

が作成し、提出されたものなので事務局で変更できない。それ以外の項目で、通年で実施するものと、そうでないものを分けて記載することができないか検討する。取組状況の右側に、事務局サイドの評価を記載することとする。

- (松本委員) 年度末と同じ評価を中間時点で実施することに問題があると思う。目標を上回っているものをA評価、順調に取り組めているものをB評価、努力が必要なものをC評価という3段階で評価してはどうか。
- (森委員長) 上半期で評価をする目的が何なのか。目的をはっきりさせた上で、どういう形で評価するのかを検討してほしい。
- (松山副委員長) 現時点で達成が難しいと思われる取組はないのか。
- (事務局) 2ページの「パブリックコメント手続の適正な運用・充実」と、4ページの「総合計画に掲げる「目指す値」の達成率」については、達成が難しいと考えている。その他の取組については、現時点でD評価となっているものでも、年度末には達成できると思う。
- (松山副委員長) C評価の中でそういったものはないのか。
- (事務局) 特にない。
- (松山副委員長) 全体的に順調に取組が進んでいるということか。
- (事務局) 年度末には、C評価やD評価はそれほど残らないと思う。
- (森委員長) 目標設定の妥当性について、行政内部で議論することはあるのか。例えば、パブコメの提出件数について議論があったと思う。
- (事務局) 後期行動計画で掲げる目標については、改めて検討する。
- (森委員長) 後期行動計画を策定した後に、数値目標を掲げた方が良いのではないかという議論になった場合に、数値を入れることはできるのか。
- (事務局) 行動計画の中に入れることはできないが、部の仕事目標の中に入れることはできる。
- (森委員長) 「シティプロモーションの推進」について、記事への掲載件数を年間300回と目標を挙げているが、掲載の中身は検証しないで良いのか。その目標設定で良いのかを内部で検討するメカニズムを入れておいてほしい。
- (事務局) 活動指標だけでなく、成果指標をみることが出来れば良いのだが。
- (森委員長) 目標設定が適切なのかを検証する機会を設けることで、組織の活性化に繋がると思う。
- (岡本委員) 「シティプロモーションの推進」については、定住人口を呼び込むことが目標であるため、その検証をしているのかが重要である。生駒市に転入してきた人に対して、どういった理由で生駒市に引っ越して来たのかを聞いてみる等の検証をしてはどうか。

- (事務局) 転入者にアンケートをとることはできると思う。
- (森委員長) 転入届が提出された際にアンケートをお願いすることはできると思う。
- (事務局) 2年に1度、市民満足度調査は実施しているが、転入者に対するアンケートはしていない。それについては今度検討したい。
- (森委員長) そういう意見を各委員から出してもらいたい。
- (松本委員) 10ページの「定員の適正化」について、職員数を830名以下という目標を掲げているが、正職員は減っても、再任用職員や臨時職員が増えて、結局人件費は減っていないといったことになっていないのか。
- (事務局) 再任用職員の雇用については、定年の延長をせずに再任用職員として雇用するという方法を採用している。無条件に採用する訳ではないが、一定の案件を満たせば雇用することになる。再任用職員を減らすことは難しい。
- (松山副委員長) 行政改革を進めていく上で、職員の積極的な協力体制が必要だが、必ずしも800名が一丸となって市長の方針を基に、協力する人ばかりではないという意見がある。
- (事務局) どの組織もそうだと思うが、できるだけそういったことがないようには取り組んでいる。
- (岡本委員) 職員は市長の顔ではなく、市民の顔を見て仕事するべきである。市民サービスの観点を優先すべきであり、市長の顔色だけを見て仕事するのは良くない。
- (森委員長) 市長は職員の意見を聞いてくれるので、生駒市は風通しの良い職場だと思う。持ち帰って、各委員から意見を提出することとする。
- (事務局) 次回開催日程に合わせて意見を提出いただきたい。

(2)後期行動計画(案)について

【資料2 後期行動計画(素案)_H25.11.25についての説明】

- (森委員長) 後期行動計画について、この場で確認したいことはあるか。
- (松山副委員長) 2ページの行革トピックスについて、高齢者交通費助成金等の福祉経費を減らして、他の施策に対する経費を増やすべきといった文言を入れてほしい。また、20ページの行革トピックスについて、職員数が減少した内訳・理由を知りたい。業務が効率化したからなのか、外部委託したからなのか、臨時職員を増やしたからなのか、理由を明確にしてほしい。
- (森委員長) 福祉経費については補助金の見直しにも関連することだが、こういう機会を使って、委員会の考えを伝えていきたい。また、職員数につ

いても、減少した要因について、より分かりやすく示してほしい。

(藤 堂 委 員) 前期行動計画から削除されたものについては、完全に削除されてしまうのか。小項目としても残らないのか。

(事 務 局) 後期行動計画では全く触れていないのは事実である。しかし、後期行動計画に挙げていないから何もしないということではない。行動計画には記載していないが、経常的に取り組む考えである。前期行動計画から削除しているものの中でも、残すべき項目があれば言ってほしい。

(岡 本 委 員) どういったスケジュールで進めていくのか。

(事 務 局) 予定では、本日素案を提示したので、次回 12 月頃の会議で中間案を決定したい。その後、1 月頃にパブリックコメントを実施し、1 月下旬及び 2 月上旬に計画案を再度検討して内容を確定したい。2 月中に市長への答申をする予定である。

【決定事項】

- ・12 月 9 日（月）までに、「前期行動計画の取組状況（平成 25 年 9 月末時点）」及び「行政改革大綱 後期行動計画（素案）」に対する意見を事務局に提出する。